

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

『あそび』あかちゃんのえほん

ヘレン・オクセンバリー／作 文化出版局 1981年 420円

<お勧め年齢>

乳幼児★★★ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

つみきやくまのぬいぐるみ、手押し車などであそぶ赤ちゃんが見開きで描かれている絵本です。字のない絵本なので、絵と一緒に見ながら赤ちゃんに話しかけてあげてください。



<子どもに手渡すときのポイント>

赤ちゃん向けの絵本探しに迷われている方にはいつも「言葉がわかるようになるとか、字が読めるようになるとかいうよりは、絵本を通して赤ちゃん和大人がコミュニケーションを楽しむものだと思って選んではどうでしょう」とお話をさせてもらっています。「字のない絵本はどう読んだらいいのかわからない」と言われる方もいらっしゃいますが、思いつくままに赤ちゃんに話しかけてあげればそれで大丈夫です。我が家の息子(1歳1ヶ月)はよくこの絵本を本棚から選んできて読んでもらいますが、お父さんは「ゴトゴトゴト」など遊びの音を声にだして読んであげていて、おじいちゃんやおばあちゃんは「くまさんだね～」とか話かけているようです。お母さん(私)はその時の気分です。どんな読み方のときも同じように楽しそうにしています。そしてまた選んでくるので気に入っているようです。

この絵本は「ヘレン・オクセンバリーの《あかちゃんのえほん》」シリーズの1冊でほかに『ともだち』『したく』『しごと』『かぞく』があります。

このコーナーで紹介した本は、お近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。